平成１９年度　特色ある大学教育支援プログラム（特色GP）フォーラム

へき地教育を担う大学サミット

へき地教育と教師教育

へき地教育は、小規模な学校の条件をいかして優れた教育実践を積み重ねてきた。地域に根ざした体験活動のみならず、個に応じた学習活動・生徒指導は、都市部においても本来共有すべき発想と内容を有している。しかし、現在全国的に少子化・過疎化に加えて、財政削減の下で学校統廃合も進められようとしている。

過疎地での学校統廃合は教育実践の継承を困難にし、地域の教育条件の低下をもたらすのみならず、地域社会全体の崩壊をまねく場合も少なくない。それだけに、地域を深く理解して学校教育活動を担い、地域の諸活動をも支えることのできる教師が強く求められている。へき地教育を担う教師教育は、これまで現職教員の研修に任されていたが、都市出身の学生が多い今日、へき地・小規模校教育の基礎的知識・指導法をもち、新しい教育を開発できる教師教育が不可欠である。

Ⅰ部　　１０時００分～１２時１５分

開　　会

琉球大学におけるへき地教育の取り組み　　琉球大学教育学部准教授　山口　剛史

鹿児島大学におけるへき地教育に対応した教員養成の現状と問題点
鹿児島大学教育学部教授　八田　明夫

長崎大学におけるへき地教育の取り組み　　長崎大学教育学部教授　村田　義幸

和歌山大学におけるへき地複式教育実習～5年間の成果から～
和歌山大学教育学部准教授　豊田　充崇

サプライズ　　１３時１５分～１３時４５分

「ザンビアにおける複式学級の教育改善」
Improving Performans at Multi-grade Classes in Zambia
ザンビア国立大学教授　K.J.ムサンゴ

Ⅱ部　　１３時４５分～１４時４５分

北海道教育大学におけるへき地教育の取り組み　　北海道教育大学教育学部講師　川前あゆみ
同　教職スーパーバイザー　幸村　敏晴

北海道のへき地校からの提言　　十勝管内　幕別町立途別小学校長　狩野　信也
上川管内　士別市立中士別小学校長　宮下　敏

Ⅲ部　　１５時００分～１６時３０分

総合討論　　司会：北海道教育大学教育学部教授　玉井　康之

閉　　会

研究実践交流会

会場：センチュリーロイヤルホテル３Ｆ（エレガンスホール）
（札幌市中央区北５条西５丁目JR札幌駅前）

平成19年12月1日(土)

◆主催：北海道教育大学
◆後援：北海道へき地・複式教育研究連盟

問い合わせ先／申し込み先
北海道教育大学へき地教育研究センター
TEL：0126-32-0208　FAX：0126-32-0259
E-mail：hekiken@iwa.hokkyodai.ac.jp
URL: reiw.iwa.hokkyodai.ac.jp/hekiken/

学長の挨拶

本間 謙二

Ⅰ部

山口 剛史　准教授

八田 明夫　教授

村田 義幸　教授

豊田 充崇　准教授

サプライズ

H.J.ムサンゴ教授

Ⅱ部

教職スーパーバイザー
幸村 敏晴

講師　川前 あゆみ

狩野 信也　校長

宮下 敏　校長

Ⅲ部